

富士見市立本郷中学校だより

学校教育目標



紫雲

よく考え、学び、求める生徒
豊かな心を持ち、思いやりのある生徒
心身を鍛え、勤労と体験を重んじる生徒

「夢と感動と思いやりがあふれ、誰もが成長を実感できる学校」 第7号
発行責任者 富士見市立本郷中学校長 仲田和広 生徒数 1年115名 2年122名 3年116名 AB4名 合計357名

遙か彼方に思いを馳せ、その「挑戦」にエールを送る

突然ですが、皆さんは「ボイジャー1号」という無人宇宙探査機を知っていますか？

「ボイジャー1号」は、1977年(今から46年前)、NASAによって打ち上げられ、今現在も運用されています。この探査機は、地球から最も遠い距離に到達した人工物であるとともに、人類が出した最も早い速度(※)で旅をし続けている人工物でもあります。

「ボイジャー1号」の最初の目標は、木星と土星及びそれらに付随する衛星と輪の観測にありました。その目標を達成した後、太陽系外の宇宙探査を行うため、2003年頃には、太陽系(惑星の軌道半径)を抜けて、太陽から出るプラズマが影響する範囲【太陽圏】へと到達したと報告されています。(木星までの距離も相当な距離です。自分で調べてみてください。)

この探査機は、その製作から、発射、発射後の操縦まで、全てが「挑戦」の連続でした。

まずは、打ち上げ当初、打ち上げロケットの第2段が“約1秒”分の燃料を残して予定よりも早く燃焼終了してしまいました。この“1秒”は、私たちの日常生活での“1秒”とは、重みが全く異なります。例えば、目指す方向と角度が“0.01度”ずれただけでも、宇宙規模では、行きつく先が全く異なります。極めて鋭角の二等辺三角形は、両辺が長くなれば、底辺も長くなることが分かると思います。宇宙のスケールでの三角形ですから、その長さも半端ではないです。つまり、燃料噴射の“1秒”が方向のズレを生む可能性がありました。この探査機の目的は、遠くの宇宙を目指すことです。最初から、方向がずれていたら、目的や目標の達成は、絶対に望めません。幸い、この不測の事態は、上段のロケットの噴射調整という「挑戦」で補正しました。

話の順番が逆になりますが、その製作でも「挑戦」が必要でした。それは、発射の日が先に決められていたからです。まず、この探査機は、人類が到達できた最高速度で旅していますが、この速度を出すためには、太陽系内の惑星のいくつかの重力を利用(スイングバイ)して加速しています。イメージとしては、それぞれの惑星に落下しながら加速するイメージです。また、できるだけ多くの惑星を利用する必要があります。だからこそ、木星・土星・天王星・海王星の位置関係が並ぶこのタイミングは、逃せなかったのです。そして、探査機は、それぞれの惑星に決められた速度と角度で近づかなければ成功しません。それを、今のコンピュータとはけた違いに能力が劣るコンピュータで計算したのです。先ほどの“1秒”の重み実感できますね。

最後は、操縦の困難さへの「挑戦」です。地球から一番近い天体である月でさえ、光の速さで約2分です。月の周回軌道上や月面上の探査機から地球の基地に送られてきた画像は、2分前のものです。地球の基地局で画面を見て「危ないストップ」と停止信号を送っても、その信号が月(付近)の探査機に届くのは2分後、つまり1つの操縦に約4分かかります。先ほどの発射後の“1秒”のズレの補修にさえ、時間がかかるのです。科学者の焦りが、想像できますね。因みに、探査機の予測軌道の再計算は、性能の低いコンピュータで行います。この間も探査機は、ものすごい速度での飛行を続けています。想像をはるかに超えた「挑戦」ですね。今「ボイジャー1号」は、太陽から見て秒速約1万7000km(時速約6万1000km)で旅をし、信号は片道約17時間22秒で届きます。(※太陽との相対最高速度は、秒速約1万7,445km)

このことから、どんなにすごい「挑戦」だったのかが、皆さんにも理解できたと思います。

みなさんも、失敗を恐れず、常に「挑戦」の意識と実践を心がけてください。 校長

余談:この「人類が到達した最高速度」も「宇宙を旅する(他の惑星に行く)のに必要な速度」と比較すると、**家庭用自転車(ギア&アツなし)**と新幹線ほどの速度比だそうです。宇宙を旅して、他の惑星に行くことができる科学力は、脅威ですね。

行事予定

日	曜	学校行事
19	日	
20	月	3-3 保育実習(1.2 校時) 2年 CBT 確認テスト
21	火	
22	水	期末テスト① 学校評価保護者アンケート
23	木	勤労感謝の日
24	金	期末テスト②
25	土	
26	日	
27	月	小学生部活動見学会 15:30 3年 CBT 確認テスト
28	火	3-1保育実習(1.2 校時) 小学生部活動見学会 16:30
29	水	表彰朝会 部活動休養日 生徒専門委員会(後期2)
30	木	小学生部活動見学会 16:30
12/1	金	アルミ缶回収 学校生活アンケート(生徒) 3-2保育実習(1.2 校時)
2	土	
3	日	
4	月	特別日課
5	火	
6	水	特別日課 3年進路面談①
7	木	特別日課 3年進路面談② 3年命の授業(2・3校時)
8	金	特別日課 3年進路面談③
9	土	資源回収9:00(雨天決行・アルミ缶のみ)
10	日	
11	月	
12	火	ノースマホ・ノーゲームデー
13	水	3年進路保護者会(5・6校時) 生徒専門委員会(後期3) 水曜日課 部活動休養日
14	木	1年川越遠足事前指導(6校時)
15	金	1年川越遠足 2年修学旅行事前説明会
16	土	
17	日	

第47回合唱コンクール 11月1日(水)

1ヶ月間という短い期間でしたが、真剣かつ熱心に練習に励み、当日は各学級とも練習の成果を存分に発揮し、素晴らしい演奏を披露しました。

【金賞】 【指揮者賞】 【伴奏者賞】



合唱コンクールの感想(抜粋)

- 金賞がとることができて本当に嬉しかったです。聞いている人に、それぞれの想いを届けることができ、本当によかったです。(生徒)
- それぞれ多くの事情がありながらも、当日できる最大の力を出しきることができたからこそ、最高の合唱コンクールになりました。合唱で築き上げた仲間との絆を他の部分でも十分に発揮していきたいです。(生徒)
- 撮影出来る席が少なく学年毎の入れ替え制にして欲しいです。(保護者)
- 素晴らしかったです。3組が金賞かと思いました！とにかくにも、とても男女の歌声のバランスが良かったと思います。(保護者)

学校運営支援者協議会 10月24日(火)

10月24日(火)14:00より学校運営支援者協議会が行われました。会議では、学校からの教育活動についての報告や前期学校自己評価について、埼玉県学力・学習状況調査質問紙について説明し、本校の課題や教育活動の充実のための話し合いを行いました。

学校評価にかかわる保護者アンケート(お願い)

保護者の皆様のご意見により、本校の教育活動がより一層充実・発展できますようご協力お願いいたします。

通知文につきましては、11月22日(水)にお子様を通じて配布いたします。今年度もQRコードによるご回答となります。詳細につきましては、通知文をご覧ください。提出期限は12月1日(金)とさせていただきます。

転校・転居について

今年度中や来年度4月に転校や転居(学区内を含む)を検討している場合は、担任または学校までお知らせください。

ボランティア活動で活躍する本中生!
10.15 防災訓練

